



# Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポート

Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートでは、Flexible Netflow (FNF) フローレコード内の Cisco TrustSec フィールドをサポートし、Cisco TrustSec 導入の標準から外れた動作のモニタ、トラブルシューティング、および特定を支援します。

このモジュールでは、Cisco TrustSec と FNF のインタラクションについてと、NetFlow バージョン 9 フローレコードの Cisco TrustSec フィールドを設定しエクスポートする方法を説明します。

- [Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートに関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの設定方法 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの設定例 \(13 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートに関する追加情報 \(15 ページ\)](#)
- [Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの機能情報 \(16 ページ\)](#)

## Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの制約事項

- Flexible Netflow (FNF) レコードでエクスポートされるセキュリティグループタグ (SGT) 値は、次のシナリオではゼロになります。
  - パケットは、信頼されたインターフェイスから、ゼロの SGT 値とともに受信します。
  - パケットは SGT なしで受信します。
  - IP-SGT ルックアップ中に SGT が検出されません。

# Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートに関する情報

## Flexible NetFlow の Cisco TrustSec フィールド

Flexible Netflow (FNF) フローレコード内の Cisco TrustSec フィールド、送信元セキュリティグループタグ (SGT) および宛先セキュリティグループタグ (DGT) は、管理者によるフローとアイデンティティ情報の関連付けに役立ちます。ネットワークエンジニアは、これにより、顧客のネットワーク リソースおよびアプリケーション リソースの利用について詳しく理解できます。この情報を使用して、潜在的なセキュリティやポリシーの違反を検出して解決するために、アクセスおよびアプリケーション リソースを効率的に計画して割り当てることができます。

Cisco TrustSec フィールドは入力/出力 FNF、ユニキャスト/マルチキャストトラフィックでサポートされています。

次のテーブルに、Cisco TrustSec 用の NetFlow V9 の企業固有フィールドタイプを示します。これは、Cisco TrustSec の送信元/宛先ソースグループタグの FNF テンプレートで使用されます。

ID	説明
CTS_SRC_GROUP_TAG	Cisco Trusted Security 送信元グループタグ
CTS_DST_GROUP_TAG	Cisco Trusted Security 宛先グループタグ

FNF フローレコードで既存の一致するフィールドに加えて、Cisco TrustSec フィールドが設定されます。次の設定を使用して、Cisco TrustSec フローオブジェクトをキーフィールドまたは非キーフィールドとして FNF フローレコードに追加し、パケット用の送信元と宛先のセキュリティグループタグを設定します。

- match flow cts {source | destination} group-tag** コマンドは、キーフィールドとして Cisco TrustSec フィールドを指定するため、フローレコード以下で設定されます。キーフィールドはフローを差別化するものです。各フローのキーフィールドには、一連の一意の値が設定されています。フローレコードにキーフィールドが含まれていない場合は、フローモニタで使用することができません。
- collect flow cts {source | destination} group-tag** コマンドは、非キーフィールドとして Cisco TrustSec フィールドを指定するため、フローレコード以下で設定されます。非キーフィールドの値は、フロー内のトラフィックに関する追加情報を提供するためにフローに追加されます。

フローレコードは、フローモニタ下で設定され、フローモニタはインターフェイスに適用されます。FNF データをエクスポートするには、フローエクスポートを設定し、フローモニター以下に追加する必要があります。

# Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの設定方法

## フローレコードのキーフィールドとしての Cisco TrustSec フィールドの設定

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **flow record** *record-name*
4. **match** {ipv4 | ipv6} **protocol**
5. **match** {ipv4 | ipv6} **source address**
6. **match** {ipv4 | ipv6} **destination address**
7. **match transport source-port**
8. **match transport destination-port**
9. **match flow direction**
10. **match flow cts source group-tag**
11. **match flow cts destination group-tag**
12. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>flow record</b> <i>record-name</i> 例： Device(config)# flow record cts-record-ipv4	Flexible Netflow (FNF) フローレコードを作成するか、または既存の FNF フローレコードを変更して、Flexible NetFlow フローレコードコンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<b>match {ipv4   ipv6} protocol</b> 例：  Device(config-flow-record)# match ipv4 protocol	(オプション) フローレコードのキーフィールドとして IPv4 プロトコルまたは IPv6 プロトコルを設定します。
ステップ 5	<b>match {ipv4   ipv6} source address</b> 例：  Device(config-flow-record)# match ipv4 source address	(オプション) IPv4 または IPv6 送信元アドレスをフローレコードのキーフィールドとして設定します。
ステップ 6	<b>match {ipv4   ipv6} destination address</b> 例：  Device(config-flow-record)# match ipv4 destination address	(オプション) IPv4 または IPv6 接続先アドレスをフローレコードのキーフィールドとして設定します。
ステップ 7	<b>match transport source-port</b> 例：  Device(config-flow-record)# match transport source-port	(オプション) フローレコードのキーフィールドとして、トランスポート送信元ポートを設定します。
ステップ 8	<b>match transport destination-port</b> 例：  Device(config-flow-record)# match transport destination-port	(オプション) フローレコードのキーフィールドとして、トランスポート宛先ポートを設定します。
ステップ 9	<b>match flow direction</b> 例：  Device(config-flow-record)# match flow direction	(オプション) フローがモニターされる方向をキーフィールドとして設定します。
ステップ 10	<b>match flow cts source group-tag</b> 例：  Device(config-flow-record)# match flow cts source group-tag	FNF フローレコード内の Cisco TrustSec 送信元セキュリティグループタグ (SGT) をキーフィールドとして設定します。
ステップ 11	<b>match flow cts destination group-tag</b> 例：  Device(config-flow-record)# match flow cts destination group-tag	FNF フローレコード内の Cisco TrustSec 宛先セキュリティグループタグ (DGT) をキーフィールドとして設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 12	<b>end</b> 例 : Device(config-flow-record)# end	Flexible NetFlow フローレコードコンフィギュレーションモードを終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

## フローレコードの非キーフィールドとしての Cisco TrustSec フィールドの設定

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **flow record *record-name***
4. **match {ipv4 | ipv6} protocol**
5. **match {ipv4 | ipv6} source address**
6. **match {ipv4 | ipv6} destination address**
7. **match transport source-port**
8. **match transport destination-port**
9. **collect flow direction**
10. **collect flow cts source group-tag**
11. **collect flow cts destination group-tag**
12. **collect counter packets**
13. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例 : Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• パスワードを入力します（要求された場合）。</li> </ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例 : Device# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>flow record <i>record-name</i></b> 例 : Device(config)# flow record cts-record-ipv4	Flexible Netflow (FNF) フローレコードを作成するか、または既存の FNF フローレコードを変更して、Flexible NetFlow フローレコードコンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<b>match {ipv4   ipv6} protocol</b> 例 : <pre>Device(config-flow-record)# match ipv4 protocol</pre>	(オプション) フローレコードのキーフィールドとして IPv4 プロトコルまたは IPv6 プロトコルを設定します。 (注) Cisco CSR100V、ISR 4400、および ASR 1000 プラットフォームでは、Cisco TrustSec フィールドは IPv4 FNF レコードでのみサポートされます。
ステップ 5	<b>match {ipv4   ipv6} source address</b> 例 : <pre>Device(config-flow-record)# match ipv4 source address</pre>	(オプション) IPv4 または IPv6 送信元アドレスをフローレコードのキーフィールドとして設定します。 (注) Cisco CSR100V、ISR 4400、および ASR 1000 プラットフォームでは、Cisco TrustSec フィールドは IPv4 FNF レコードでのみサポートされます。
ステップ 6	<b>match {ipv4   ipv6} destination address</b> 例 : <pre>Device(config-flow-record)# match ipv4 destination address</pre>	(オプション) IPv4 または IPv6 接続先アドレスをフローレコードのキーフィールドとして設定します。 (注) Cisco CSR100V、ISR 4400、および ASR 1000 プラットフォームでは、Cisco TrustSec フィールドは IPv4 FNF レコードでのみサポートされます。
ステップ 7	<b>match transport source-port</b> 例 : <pre>Device(config-flow-record)# match transport source-port</pre>	(オプション) フローレコードのキーフィールドとして、トランスポート送信元ポートを設定します。
ステップ 8	<b>match transport destination-port</b> 例 : <pre>Device(config-flow-record)# match transport destination-port</pre>	(オプション) フローレコードのキーフィールドとして、トランスポート宛先ポートを設定します。
ステップ 9	<b>collect flow direction</b> 例 : <pre>Device(config-flow-record)# collect flow direction</pre>	(オプション) フロー方向を非キーフィールドとして設定し、フローがモニタされた方向の収集を有効化します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 10	<b>collect flow cts source group-tag</b> 例 :  Device(config-flow-record)# collect flow cts source group-tag	FNF フロー レコード内の Cisco TrustSec 送信元セキュリティグループタグ (SGT) を非キーフィールドとして設定します。
ステップ 11	<b>collect flow cts destination group-tag</b> 例 :  Device(config-flow-record)# collect flow cts destination group-tag	FNF フロー レコード内の Cisco TrustSec 宛先セキュリティグループタグ (DGT) を非キーフィールドとして設定します。
ステップ 12	<b>collect counter packets</b> 例 :  Device(config-flow-record)# collect counter packets	(オプション) フローで確認されるパケット数を非キーフィールドとして設定し、フローから合計パケット数を収集します。
ステップ 13	<b>end</b> 例 :  Device(config-flow-record)# end	Flexible NetFlow フロー レコード コンフィギュレーション モードを終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

## フロー エクスポートの設定

フローエクスポートごとに、1つの宛先のみがサポートされます。複数の宛先にデータをエクスポートする場合は、複数のフロー エクスポートを設定してフロー モニターに割り当てる必要があります。

### 始める前に

フロー レコードを作成していることを確認します。詳細については、「フロー レコードの非キーフィールドとしての Cisco TrustSec フィールドの設定」の項および「フロー レコードの非キーフィールドとしての Cisco TrustSec フィールドの設定」の項を参照してください。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **flow exporter** *exporter-name*
4. **destination** {*ip-address* | *hostname*} [**vrf** *vrf-name*]
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例 : Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"><li>パスワードを入力します (要求された場合)。</li></ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>flow exporter exporter-name</b> 例 : Device(config)# flow exporter EXPORTER-1	フローエクスポートを作成するか、または既存のフローエクスポートを変更して、Flexible NetFlow フローエクスポート コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	<b>destination {ip-address   hostname} [ vrf vrf-name]</b> 例 : Device(config-flow-exporter)# destination 172.16.10.2	エクスポートの宛先システムの IP アドレスまたはホスト名を指定します。
ステップ 5	<b>end</b> 例 : Device(config-flow-exporter)# end	Flexible NetFlow フローエクスポート コンフィギュレーションモードを終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

## フロー モニタの設定

## 始める前に

フローエクスポートをデータエクスポート用のフローモニタに追加するには、フローエクスポートを作成していることを確認します。詳細については、「フローエクスポートの設定」の項を参照してください。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **flow monitor monitor-name**
4. **record record-name**
5. **exporter exporter-name**
6. **end**



## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>flow monitor monitor-name</b> 例： Device(config)# flow monitor FLOW-MONITOR-1	フロー モニタを作成するか、または既存のフロー モニタを変更して、Flexible NetFlow フロー モニタ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>record record-name</b> 例： Device(config-flow-monitor)# record FLOW-RECORD-1	フロー モニターのレコードを指定します。
ステップ 5	<b>exporter exporter-name</b> 例： Device(config-flow-monitor)# exporter EXPORTER-1	フロー モニタのエクスポートを指定します。
ステップ 6	<b>end</b> 例： Device(config-flow-monitor)# end	Flexible NetFlow フロー モニタ コンフィギュレーション モードを終了して、特権 EXEC モードに戻ります。

## インターフェイスへのフロー モニタの適用

フロー モニタをアクティベートするには、フロー モニタを 1 つ以上のインターフェイスに適用する必要があります。

## 始める前に

フロー モニタを作成していることを確認します。詳細については、「フロー モニタの設定」の項を参照してください。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**

3. **interface** *type number*
4. **{ip | ipv6} flow monitor** *monitor-name* **{input | output}**
5. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例 :  Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例 :  Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>interface</b> <i>type number</i> 例 :  Device(config)# interface ethernet 0/0	インターフェイスを指定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	<b>{ip   ipv6} flow monitor</b> <i>monitor-name</i> <b>{input   output}</b> 例 :  Device (config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input	作成済みのフローモニタを、トラフィックの分析対象となるインターフェイスに割り当てることで、そのフローモニタをアクティブにします。
ステップ 5	<b>end</b> 例 :  Device(config-if)# end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

## Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの確認

## 手順の概要

1. **enable**
2. **show flow record** *record-name*
3. **show flow exporter** *exporter-name*
4. **show flow monitor** *monitor-name*
5. **show flow monitor** *monitor-name* **cache**
6. **show flow interface** *type number*

## 手順の詳細

---

### ステップ 1 enable

特権 EXEC モードを有効にします。

- パスワードを入力します（要求された場合）。

例：

```
Device> enable
```

### ステップ 2 show flow record *record-name*

指定した Flexible Netflow (FNF) フロー レコードの詳細を表示します。

例：

```
Device> show flow record cts-recordipv4

flow record cts-recordipv4:
  Description:          User defined
  No. of users:         1
  Total field space:    30 bytes
  Fields:
    match ipv4 protocol
    match ipv4 source address
    match ipv4 destination address
    match transport source-port
    match transport destination-port
    match interface input
    match interface output
    match flow direction
    match flow cts source group-tag
    match flow cts destination group-tag
    collect counter packets
```

### ステップ 3 show flow exporter *exporter-name*

指定した FNF フロー エクスポートの現在のステータスを表示します。

例：

```
Device> show flow exporter EXPORTER-1

Flow Exporter EXPORTER-1:
  Description:          User defined
  Export protocol:      NetFlow Version 9
  Transport Configuration:
    Destination IP address: 100.100.100.1
    Source IP address:    3.3.3.2
```

```

Transport Protocol:    UDP
Destination Port:     2055
Source Port:          65252
DSCP:                 0x0
TTL:                  255
Output Features:      Used

```

#### ステップ 4 `show flow monitor monitor-name`

指定した FNF フロー モニタのステータスと統計情報を表示します。

例 :

```

Device> show flow monitor FLOW-MONITOR-1

Flow Monitor FLOW-MONITOR-1:
Description:          User defined
Flow Record:          cts-recordipv4
Flow Exporter:        EXPORTER-1
Cache:
Type:                 normal (Platform cache)
Status:                allocated
Size:                 200000 entries
Inactive Timeout:     60 secs
Active Timeout:       1800 secs
Update Timeout:       1800 secs
Synchronized Timeout: 600 secs
Trans end aging:      off

```

#### ステップ 5 `show flow monitor monitor-name cache`

指定した FNF フロー モニタ キャッシュのコンテンツを表示します。

例 :

```

Device> show flow monitor FLOW-MONITOR-1 cache

Cache type:                Normal
Cache size:                4096
Current entries:           2
High Watermark:            2

Flows added:                6
Flows aged:                4
- Active timeout           (1800 secs) 0
- Inactive timeout         (15 secs)   4
- Event aged                0
- Watermark aged           0
- Emergency aged           0

IPV4 SOURCE ADDRESS:       10.1.0.1
IPV4 DESTINATION ADDRESS:  172.16.2.0
TRNS SOURCE PORT:          58817
TRNS DESTINATION PORT:     23
FLOW DIRECTION:            Input
IP PROTOCOL:                6

```

```
SOURCE GROUP TAG:          100
DESTINATION GROUP TAG:     200
counter packets:          10

IPV4 SOURCE ADDRESS:       172.16.2.0
IPV4 DESTINATION ADDRESS:  10.1.0.1
TRNS SOURCE PORT:          23
TRNS DESTINATION PORT:     58817
FLOW DIRECTION:            Output
IP PROTOCOL:                6
SOURCE GROUP TAG:          200
DESTINATION GROUP TAG:     100
counter packets:           8
```

## ステップ 6 show flow interface type number

指定したインターフェイスに適用される FNF フローモニタの詳細を表示します。フローモニタがインターフェイスに適用されない場合、出力は空になります。

例：

```
Device> show flow interface GigabitEthernet0/0/3

Interface GigabitEthernet0/0/3
  FNF: monitor:          FLOW-MONITOR-1
      direction:        Input
      traffic(ip):      on
  FNF: monitor:          FLOW-MONITOR-1
      direction:        Output
      traffic(ip):      on
```

# Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの設定例

## 例：フローレコードのキーフィールドとしての Cisco TrustSec フィールドの設定

次の例は、Cisco TrustSec フローオブジェクトを、IPv4 Flexible NetFlow フローレコードのキーフィールドとして設定する方法を示します。

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config)# flow record cts-record-ipv4
Device(config-flow-record)# match ipv4 protocol
Device(config-flow-record)# match ipv4 source address
```

例：フローレコードの非キーフィールドとしての Cisco TrustSec フィールドの設定

```
Device(config-flow-record) # match ipv4 destination address
Device(config-flow-record) # match transport source-port
Device(config-flow-record) # match transport destination-port
Device(config-flow-record) # match flow direction
Device(config-flow-record) # match flow cts source group-tag
Device(config-flow-record) # match flow cts destination group-tag
Device(config-flow-record) # end
```

## 例：フローレコードの非キーフィールドとしてのCiscoTrustSecフィールドの設定

次の例は、Cisco TrustSec フロー オブジェクトを、IPv4 Flexible NetFlow フロー レコードの非キー フィールドとして設定する方法を示します。

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config) # flow record cts-record-ipv4
Device(config-flow-record) # match ipv4 protocol
Device(config-flow-record) # match ipv4 source address
Device(config-flow-record) # match ipv4 destination address
Device(config-flow-record) # match transport source-port
Device(config-flow-record) # match transport destination-port
Device(config-flow-record) # collect flow direction
Device(config-flow-record) # collect flow cts source group-tag
Device(config-flow-record) # collect flow cts destination group-tag
Device(config-flow-record) # collect counter packets
Device(config-flow-record) # end
```

## 例：フロー エクスポートの設定

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config) # flow exporter EXPORTER-1
Device(config-flow-exporter) # destination 172.16.10.2
Device(config-flow-exporter) # end
```

## 例：フロー モニタの設定

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config) # flow monitor FLOW-MONITOR-1
Device(config-flow-monitor) # record FLOW-RECORD-1
Device(config-flow-monitor) # exporter EXPORTER-1
Device(config-flow-monitor) # end
```

## 例：インターフェイス上のフロー モニタの適用

次の例は、トラフィックを分析するインターフェイスに IPv4 フロー モニタを適用することで、このフロー モニタをアクティベートする方法を示します。IPv6 フロー モニタをアクティベートするには、**ip** キーワードを **ipv6** キーワードと置き換えます。

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config)# interface ethernet 0/0
Device(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
Device(config-if)# end
```

## Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートに関する追加情報

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
セキュリティ コマンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands A to C』</li> <li>• 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands D to L』</li> <li>• 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands M to R』</li> <li>• 『Cisco IOS Security Command Reference: Commands S to Z』</li> </ul>
Flexible NetFlow でのデータ エクスポート	『Flexible Netflow Configuration Guide』パブリケーションの「Flexible NetFlow Output Features on Data Export」の章
Flexible NetFlow のフロー レコードとフロー モニタ	『Flexible Netflow Configuration Guide』パブリケーションの「Customizing Flexible NetFlow Flow Records and Flow Monitors」の章

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a></p>

## Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



表 1: Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートの機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポート		<p>Cisco TrustSec フィールドの Flexible NetFlow エクスポートでは、Flexible Netflow (FNF) フローレコード内の Cisco TrustSec フィールドをサポートし、Cisco TrustSec 導入の標準から外れた動作のモニタ、トラブルシューティング、および特定を支援します。</p> <p>この機能により、次のコマンドが導入されました。<b>match flow cts {source   destination} group-tag</b> および <b>collect flow cts {source   destination} group-tag</b>。</p>



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。